

RCEの認定を受けるには？

認定のプロセス

- 毎年春頃 申請書の提出
 - 毎年11～12月頃 予備審査の後、ウブントゥ RCE 審査委員会にて審査、国連大学にて認定
 - 毎年春頃 RCE 申請組織への通知
- ※申請書と申請概要を作成し、国連大学サステナビリティ高等研究所のグローバルRCE サービスセンター（ウブントゥ RCE 審査委員会の事務局）に提出します。

ウブントゥ RCE 審査委員会において、以下の基本的要素に注目して審査が行われます。

認定の基準

1. 協働

- 大学等、高等教育機関の参画
- 学校等、初等・中等教育機関の参画
- 非公的、公的な活動実施団体を含むその他のステークホルダーの参画

2. RCEのビジョン

- RCEの明確で具体的なビジョン
- 持続可能な開発の「三本柱」である経済、社会、環境側面への配慮
- 地域の課題と、課題解決のために提案された活動の妥当性

3. ガバナンス

- 財政的持続可能性を裏付ける主要機関によるコミットメント
- ガバナンスと運営体制
- モニタリングと評価の仕組み

4. RCEの活動を進めるための資源活用方法

5. 継続中・計画中の活動

- 個々のRCE参加組織における過去と継続中の活動に関する説明
- 複数のRCE参加組織で計画している協働・共同活動に関する説明
- RCE内研究開発活動の構成要素
- RCEの変革を促す教育活動の構成要素

※詳細ガイドラインはこちら → <http://www.rcenetwork.org/portal/call-rce-applications>

RCE 申請書提出先

〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5-53-70
国際連合大学サステナビリティ高等研究所 グローバルRCE サービスセンター
電話: 03-5467-1212
Email: rceservicecentre@unu.edu

RCE Regional Centre of Expertise on
Education for Sustainable Development

REGIONAL CENTRE OF EXPERTISE
ON EDUCATION FOR
SUSTAINABLE DEVELOPMENT

ACKNOWLEDGED BY



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

教育で地域と世界をつなごう

— 国連大学認定 ESD 拠点 —

ESD

持続可能な開発のための教育。一人ひとりが世界の人々や環境との関係性の中で生きていることを認識し、将来世代のために持続可能な社会の実現に向けて行動を変革するための教育のことです。ESDはSDGs17全ての目標の達成に貢献できる重要な要素です。

SDGs

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)。世界が抱える貧困、気候変動、生物多様性、エネルギーなどの問題を解決し、持続可能な社会をつくるために世界各国が合意した17の目標です。

RCE

国連大学が推進している、地域でESDを進めるための拠点です。自治体、教育機関、民間企業、市民団体などの団体・機関・組織でネットワークをつくります。

RCEとは？

Regional Centre of Expertise on Education for Sustainable Development

(持続可能な開発のための教育に関する地域の拠点)

- 国連大学が認定・推進する地域のESDの拠点です。
- ESDを地域や地方のコミュニティーに広げるため、学校等のフォーマル教育機関とそれ以外の機関等が結集してつくるネットワークです。
- 2005年から認定を開始し、2018年9月現在160拠点以上が活動中

ESDのねらい

- ▶ 一般市民による認知と理解
- ▶ 質の高い基礎教育を受ける機会の提供
- ▶ 既存教育の新たな方向付け
- ▶ あらゆるセクターにおける研修プログラム

※「アジェンダ21」第36章におけるESDの4項目

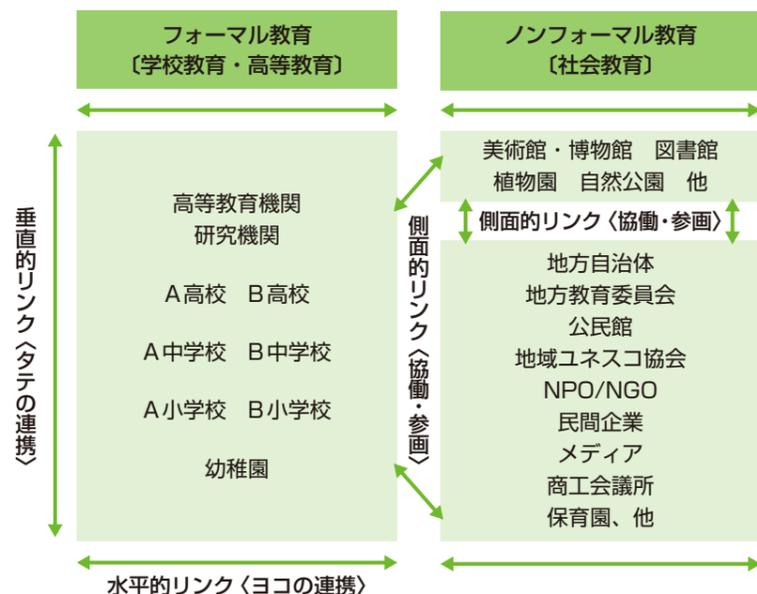
RCEの主な活動

- ▶ ガバナンス (RCE 運営)
- ▶ パートナーシップ (さまざまな分野のステークホルダーが協働)
- ▶ 研究 (研究を地域課題とESD実践に活用)
- ▶ イノベーション (現行の教育制度を持続可能なものへ変革)

※RCEの地理的範囲

経済・社会・文化・自然条件において、様々な分野のステークホルダーが活動し、お互いに連帯感を有する広がりを持つ地域。日常的に直接コミュニケーションできるだけのコンパクトな広さが求められる。

Regional Centres of Expertise on Education for Sustainable Development



RCEになるメリットとは？

国連大学のプロジェクトとして、SDGs達成に向けたESDを進めます。

ESDは2005年から「国連『持続可能な開発のための教育』の10年」として、2015年からは「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム (GAP)」により学校・社会教育などにおいて促進されてきました。

2015年にはSDGsが国連全体で採択され、今後もESDはSDGsの達成に向けた更なる活動が求められています。RCEはESDを進める持続的なプロジェクトです。



世界160以上のRCEとつながり、国際的な連携ができます。

RCEでは、世界各国でESDに取り組む方たちが交流、協働するための場を提供します。さまざまな関係者が情報交換や交流を図る場として定期的に世界会議や各地域会議 (アジア太平洋地域、アメリカ、欧州、アフリカ) を開催しています。このほかオンラインでも情報提供や共有などがなされています。

地域の具体的な取組を結ぶ場をつくります。



韓国 RCE Tongyeong 国際ユースキャンプに参加する岡山 RCE (2017年)



国際交流など、日本国内 RCE の活動の様子